

井出学長との懇談会がありました

平成 20 年から母校 120 周年記念事業を題材に学長一同窓会長との対談が行われていますが、今年は趣向を変え司会を専務理事から広報委員会委員長に、そして学長一会长対談から出席者を増やし、しかもより普段着の懇談形式に変えてみました。参加者は、井出学長、矢崎会長、事業推進担当宮地副会長、大学連携担当佐瀬副会長、若手ネットワーク担当高野常任理事、そして昭和 53 年卒の臼田広報委員長です。話題の中心は何と言っても歯科医師国家試験合格率が国立私立あわせ一位となった輝かしい実績に集まりました。学生の頑張りだけではなく、10 年ほど前に低迷期を経験し、それを機に教員・職員一丸となって今日の位置までに至ったご苦勞を聞くことができました。また学費のダンピング？にみられるように歯科教育をとりまく環境が激変する中、明日の保証のない国家試験順位の戦い、それでも質を求める東京歯科大学の真髓、そしてそれをサポートする同窓会と熱い話が続きました。詳細は同窓会報 6 月号とHPに掲載します。ここではその時の写真を紹介しましょう。

学年代表者が 7 月 1 日（日）に開催されます

クラス代表の先生方には、昨年からはまりました学年代表者会開催のご案内が届いていると思います。同窓の絆をより強くするため、支部、クラス会の縦糸横糸のつながりを大切にしてください。今回の協議では「若手同窓と同窓会組織」をキーワードにして有意義な意見交換ができるよう準備中です。

水道橋・新血協記念ホール建設のための寄付協力をお願い

来年、新血協記念ホールが出来上がります。我々の先輩でもあり、母校や同窓会だけではなく、歯科界の発展のためにすべてをなげうち、歯科医師会の設立、歯科医師法の制定、歯科医専から大学への昇格と次から次へと歯科医師の地位と資質の向上にご尽力くださった血協先生。血協イズムを永く後輩達に伝えていくことは私たちの責務であり、また同時に誇りでもありましょう。その意味で**新血協記念ホール**はこれから永く私たち同窓一人一人の精神的なシンボルとなるはずです。さらに同窓と大学との絆にもなり、今までの 120 年の歴史、そしてこれから 120 年の発展の礎となる場になるものと確信しています。

一口 2 万円の寄付にできるだけ多くの同窓からの協力をお願いいたします。目標 6000 人、5 億円を達成しましょう。現在 629 人、総額 1 億 5, 515 万 5 千円の寄付申し込みまでできています。同窓会報 2 月号に申し込み用紙は同封しております。支部、クラス会にも同窓会からのお願いをお伝えください。よろしくよろしく申し上げます。

水道橋移転・新血協記念ホール建設のための同窓寄付協力の申し込み現状

寄付ご協力人数 629 人 (目標 6000 人)

支部から団体寄付 9 件

現在までの寄付申し込み総額 1億5,515万5,000円

(個人による寄付申し込みの内訳)

北海道	26人	462万円	東北	34人	766万円
関東	181人	4,278万円	東京	179人	6,132万円
信越	30人	720万円	北陸	11人	212万円
東海	39人	700万円	近畿	18人	263万円
中国	28人	424万円	四国	68人	612万円
九州	15人	304万円			
支部から団体寄付	9支部	642.5万円			

注：この数字は2012年4月12日現在の申し込み状況です。寄付ご協力人数および個人による寄付の内訳では支部からの団体寄付を除いています。また、現在までの寄付申し込み総額では個人による寄付と団体による寄付とを合わせてあります。

TDC卒研セミナー2012がスタートしました

本年度6回のセミナーを予定している卒研セミナーが4月22日(日)にスタートしました。第1回セミナーは、ベーシックセミナー「初診の患者さんをどうみるか？」—診察と検査のPoint—です。出席者80名、10グループに分かれ、スクリーンに映った症例を使って、口腔全体から何をみるのか、どこから治療を始めますかなど、学術委員がチューターになり懇切丁寧な研修が行われました。

評価も上々ですし、若い先生方にとっては、基本を身につけることができることから臨床研修医や大学の研修生にも出席を呼びかけています。まさに若手育成事業そのものなのです。第2回目はイブニングセミナー「有病者の歯科治療で何を注意すべきか」で、6月28日(木)6時からです。

「TDCインプラントセミナー・マスターコース」も5月12日(土)に開講致します。

委員会活動紹介—広報委員会

機構改革により、昨年までの広報委員会とホームページ委員会が一緒になり、少し大所帯ですが、広報委員会として一つになりました。頭脳が集まったことで、同窓会報、ホームページの内容がどんどんかわってきています。同窓会報の表紙が変わりました。さらに変わる予定です。カラーページが増えました。ホームページでも同窓会報を読めるようになりました。委員会では新しい企画の議論がつづいています。アイデア募集中で、「すいどうばし」と題するページがありますが「いなげ」のページも作ろう、地域理事の先生方からの声も紹介したら、特技をもつ同窓やいろいろな分野で活躍する同窓の紹介を、血脇先生のように時代をかえた同窓の話など紹介したらとワクワクするようなプランが続々提案されています。また、ホームページでもフェイスブックはどう？などと革新的なアイデアもでています。同窓会と会員とのパイプ役でもあり、会員と会員とのつながりをより太くする役割をもつ同窓会報とホームページが会員にとってより身近な存在になるように、毎月一回委員の先生方は熱い議論を進めています。



学長との懇談会 (24.4.19)



「さいかち坂校舎」に寄贈
の一部 (電子レンジ4台)



同窓会・会務運営協議会
(24.3.26)



TDC卒研セミナー
ベーシックセミナー (24.4.22)



TDC卒研セミナー
ベーシックセミナー (24.4.22)



ベーシックセミナー予演会
(24.4.2)



総務・厚生部
ゴルフ大会委員会 (24.4.2)



渉外部 渉外委員会
(24.3.23)



広報部 広報委員会
(24.4.11)

(情報ネット推進会議発)